

介護と人生

仕事・子育てと
どう両立させる？

13

日本エルターライフ協会 代表理事
ケアライフアドバイザー

柴本美佐代

子育てとの違い

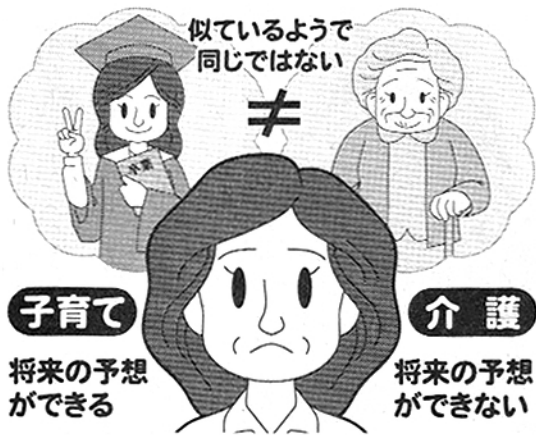
介護の経験はなくても子育てしながら仕事をされた方は多いでしょう。

介護は家族の世話をするという点では子育てに似ていますが、子どもは徐々に手がかからなくなり将来の予想ができます。出産のためにはいったん仕事を辞めたとしても、保育所の入所が決まれば再就職するなど計

画を立てて準備や行動することができません。それに対して介護ではいつまで続くか、どんな状況になるのか先が見えず、計画すら立てづらくなります。

また、保育園は月単位の契約なので定額で毎日利用できますが、デイサービスは1日単位なので毎日利用すると要介護度によっては月間の利用限度額を超え高額になる場合もあります。保育は仕事をする親のためのサービスですから就労時間に合わせた時間で設定されていますが、デイサービスは介護者の就労が目的ではなく利用時間も基本的に日に限られます。

介護保険の本来の目的は本人の自立を支援することなので、介護者の都合に合わせてサービスではないの



将来予想しにくく計画立てづらい

です。仕事と介護の両立が難しいのは、両立のためのサービスがないからだと言っても過言ではないでしょう。

保育料は親の収入や経済状態によって決まりますが、介護サービスの自己負担は要介護者本人の収入や資産状況によって決まります。ですから、介護する時には費用負担を本人の経済状態によって決めることが大切です。介護者のためのサービスではないので、その費用を介護者が負うことは二重の負担になりかねません。

ドイツやオランダでは介護保険サービスが現金給付を選ぶことができ、家族介護者などに保険から報酬を支払うことができます。金額はサービスを利用する場合よりも低くなりますが、家族等の介護にも対価があるという考え方は日本の無償の家族介護とは大きく異なる考えです。子育てと介護は同じではないのです。